

1失点 力は尽くした

第1シードの長崎日大を相手に無安打、11三振と打線は沈黙した。

試合後、西裕聰主将（3年）は

夏輝

西陵

九回裏、2死走者なし。西陵の岩永佑選手（3年）の打球は三塁前に転がり、一塁にヘッドスライディングするも試合は終わった。

第1シードの長崎曰大を相手に無安打、11三振と打線は沈黙した。試合後、西裕聰主将（3年）は「とにかく悔しい。エースの植木が頑張つて投げていたのに、援護できなかつた。守備から攻撃のリズムを作るチームの良さが出せなかつた」と目を真っ赤にして話した。

先発したエースの植木駿介投手（3年）は、2回戦では完封勝利を果たし好調だった。この日も四球などで走者を出しながらも、六回までは無失点に抑えた。

試合が動いたのは七回表。1死走者なしで三塁打を浴びると、次打者に初球の甘く入った直球を左翼にはじき返された。これが犠飛となり、決勝点となつた。

「少しずつ疲れがきていた。踏ん張れたらと思つて投げたベストボールだった」。植木投手は汚れたユニホームで涙を拭きながら試合を振り返った。終盤は立て直し、最終回は三者凡退に抑えてエースの意地を見せた。

矢ヶ部和洋監督は「持っている力を出し切って、全員でこれまで3試合よくやってくれた。特に守備は、選手たちで意見を出し合って必死に考えながら取り組んでいた」とたたえた。（樋脇勇太）

第69回県吹奏楽コンクール（県吹奏楽連盟、朝日新聞社など主催）は21日、高校の部の2日目が長崎市の長崎ブリックホールであり、20団体が息の合った演奏を披露した。出場した計40団体の

【高校の部】(第2日)

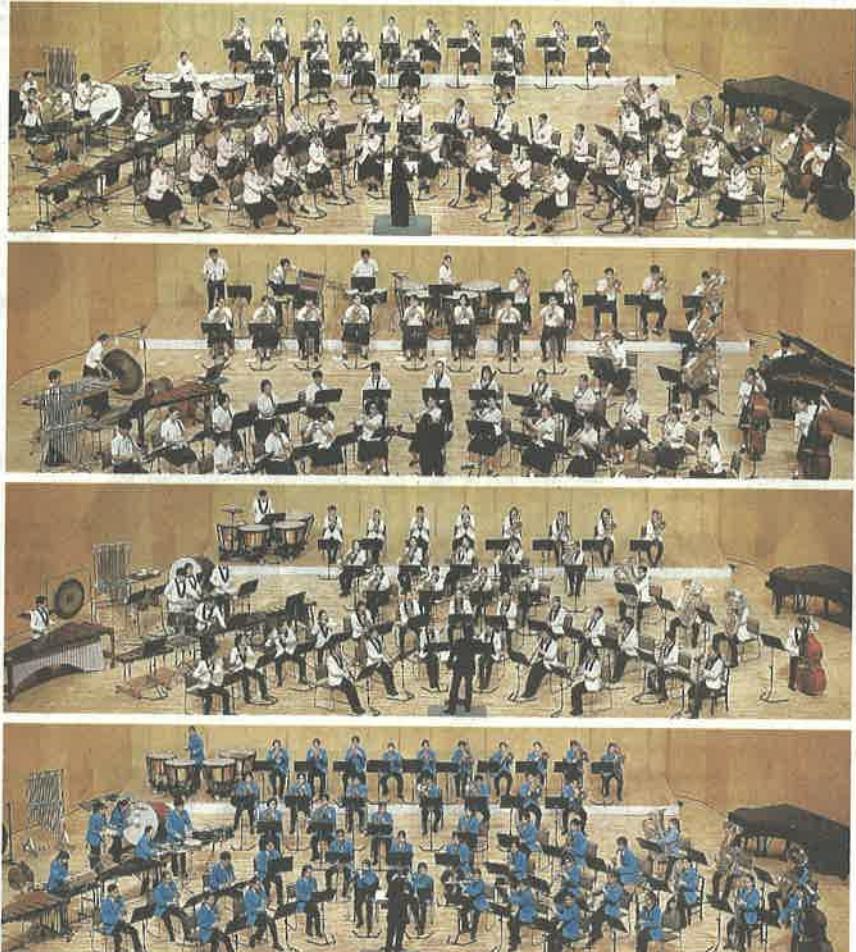
4 団体
九州大会へ

県吹奏楽コン 高校の部

第69回県吹奏楽コンクール（県吹奏楽連盟、朝日新聞社など主催）は21日、高校の部の2日目が崎南、創成館、西陵の4団体が8月25日に福岡市で開かれる九州大会への長崎市の長崎ガリラヤ、出場となる。

出場を決めた

保北、西陵、長崎曰大高・中
銀賞 壇浦、純心中・女子
高、猶興館・長崎西、口加、長
崎工、九州文化學園
銅賞 島原商、長崎明誠、壹
岐商、清峰、川棚



活水中·高

長崎南

創成館

西陵